

同朋金属のタイCC

JX商事が資本参加

情報共有、シナジー狙う

同朋金属工業（本社

・東京都葛飾区、社長

・城戸茂氏）のタイの

コイルセンター（CC）

に、JX金属商事が資

本参加した。両社の業

容の補完・拡大と顧客

満足度の向上を図るた

め。JX金属商事が15

%、345万タイツ

（約900万円）を出

資。同コイルセンター

の資本金は2345万

タイツ（約5650万

円）となる。

出資先となるのは、

同朋金属のASEAN

拠点である「同朋メタ

ル・タイランド」で、

東南部のチョンブリ県

に位置するコイルセン

ター。昨年5月に稼働

を開始し、スリッター

レスのほかアルミの加

工を手掛ける。

東南アジアでは自動

車や電子機器向けの市

場拡大が期待されてお

り、タイのCCはそう

した需要の取り込みを

担う重要拠点。13年に

は月間300トの出荷

と売上高21億円を目指

している。

今回の資本提携は、

伸銅品やステンレスの

加工販売を手掛ける同

朋金属と、金属加工品

や原料リサイクル、工

業用表面処理材料の販

売などの業容を持つJ

X金属商事が、互いに

協力し合うことでワン

ストップサービス機能

を充実させ、需要家に

とってより便利な拠点

とすることが目的。ま

たJX金属商事からは

営業員1人を派遣する

ことが決まっており、

両社の持つ情報を共有

し営業面においてシナ

ジー効果を出したい考

え。

同朋金属は昨年8月

に伸銅品・ステンレス

のCCをフィリピン・

マニラに立ち上げてお

り海外CCは計4カ

所。近年の経営戦略と

して、海外売上高の約

5割を占める中国拠点

への一極集中のみなら

ず、東南アジアにも注

力する方針を採ってい

る。現在、海外拠点の

出荷量は全体の約4割

だが、将来的には6割

に引き上げる。

海外事業を担当する

栗飯原副社長は「海外

の対応力強化はあくま

でお客様のワンストップ

対応ニーズに応える

ため。今年是国内拠点

においても設備投資、

サービスの充実化を進

めていく」という。